

G Xを実現する半導体の製造サプライチェーン強靱化支援事業

商務情報政策局

情報産業課

令和6年度概算要求額 **1,078億円（新規）**

事業の内容

事業目的

デジタル化やグリーンイノベーションへの対応により、半導体が国民生活で担う機能が増大する中、電流・電圧制御を担うパワー半導体は、EVや風力発電をはじめ、あらゆる機器の電力制御デバイスとして、今後のカーボンニュートラルの実現に必要不可欠であり、経済安全保障上も極めて重要。

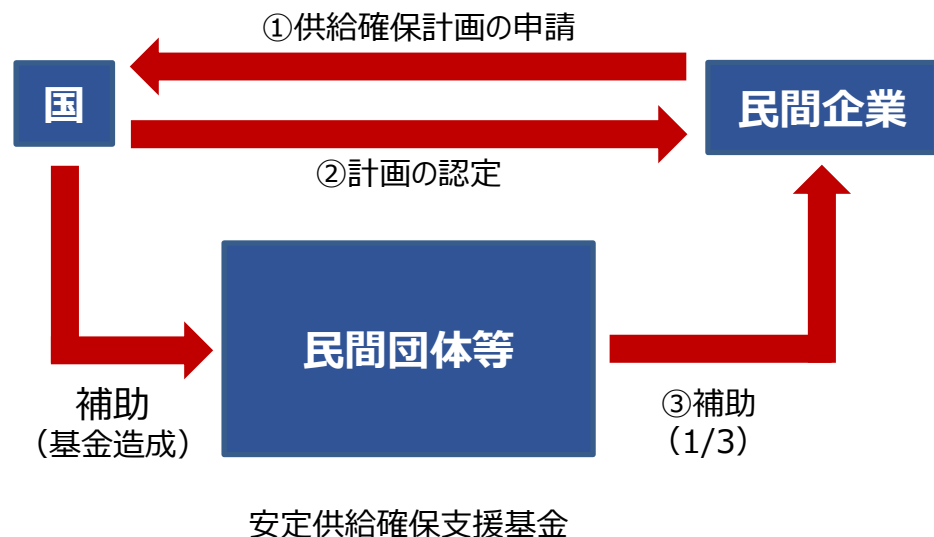
激化する国際競争を勝ち抜き、個社の技術的優位性を活かしつつ、パワー半導体等の国内生産能力強化等の支援を行い、GXの実現に向けた確実な投資を進めるとともに、サプライチェーンの強靱化を図る。

事業概要

経済安全保障推進法に基づき、2022年12月に特定重要物資として半導体を指定。従来型半導体及び、半導体のサプライチェーンを構成する製造装置・部素材・原料の製造能力の強化等を図ることで、半導体の国内生産能力を維持・強化。

パワー半導体については、市場が大きく拡大すると見込まれているSiCパワー半導体を中心に、国際競争力を将来にわたり維持するために必要と考えられる相当規模の投資に対して、重要な部素材の調達に向けた取組内容についても考慮しつつ、集中的に支援を実施する。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

エネルギー効率の改善に資する半導体サプライチェーンの強靱化を実現し、日本全体としてパワー半導体等の競争力を向上するとともに、脱炭素化等の社会課題の解決の実現にも繋げる。